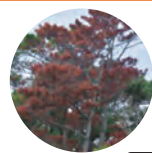


松くい虫被害の発生を防いで みんなでリュウキュウマツを守ろう!



リュウキュウマツについて

沖縄地域の固有種で、県木であるリュウキュウマツは、防風林や森林資源として重要であるばかりでなく、幹線道路周辺に広がる松林は、美しい風致景観の形成など観光資源としても価値があります。

また、各地の集落内には、昔から住民に広く親しまれ、文化的に貴重な巨樹や老木等の名木が多く、これらの松林の保全が強く求められています。



松くい虫とは



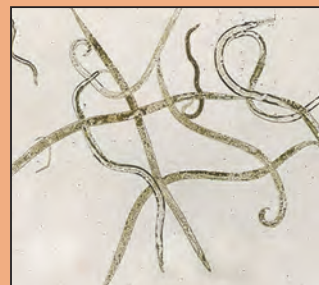
マツを枯らすのは「マツノザイセンチュウ」という0.6～1.0mm程の線虫です。この線虫を、マツノマダラカミキリという昆虫が運搬することで樹から樹へ伝染し、これら2つの生物による伝染病の通称が「松くい虫」です。

正式には「マツ材線虫病」といいます。

北海道を除く全国各地で被害が確認され、夏から秋にかけてマツの葉が急速に褐変し枯死する被害です。



マツノマダラカミキリ



マツノザイセンチュウ

松くい虫の恐ろしさ

沖縄県の松くい虫被害は、1973年に東村平良から名護市二見の海岸線で初確認され、1980年代には沖縄島全域に拡大し被害量は増加していきました。

被害木は単木で発生することもあります。感染・発症させる力が強い伝染病のため、松林が多い島では被害は全域に拡大する恐れがあります。

松くい虫被害が甚大になると、森林の公益的機能（土砂流出防止など）が十分に発揮されなかったり、美しい森林景観も損なわれたりします。

また、枯れてから時間の経ったリュウキュウマツは太枝の落下や倒木の危険があります。

被害未発生地で被害が発生すると…＜久米島の例＞

2021年に久米島で松くい虫が初確認されました。久米島町と沖縄県は直ちに対策を行いました。リュウキュウマツの多い島であり、発見時にはすでに被害が進行拡大していたこと、島内に森林組合など伐採技術を有する組織が少なかったことなどにより、2024年現在、被害は久米島全体に拡大しつつあります。それに伴い、対策費用も増額・捻出していかなければなりません。

久米島での実例から、被害未発生地域で被害が発生・拡大した場合の対応の難しさ、被害侵入前の予防や流行初期を見逃さないための監視と、発見時の初期対応の重要性が明らかになりました。



2014年

【2014年】
久米島ティーダ橋付近から臨む山林の状況。
松くい虫被害はまだ見られていない。
出典: Google Earth

【2023年】
久米島ティーダ橋付近から臨む山林の状況。
松くい虫被害が発生・拡大している。



2023年

松くい虫被害の見分け方

年によって多少の差はありますが、梅雨明け後の7月～9月に葉の変色が始まり、2～3週間という短期間で枯れてしまいます。

ヤニの出る量が少なくなる

葉の変色という見た目の変化の前に、樹脂(ヤニ)が少なくなったり止まったりするのも松くい虫被害の特徴です。この症状は一見健康そうなマツでも確認できます。

幹にナイフやポンチで樹皮の下まで届く傷をつけ、ヤニの出方で診断する方法もあります。マツが健全であれば、1時間もしないうちにヤニが出てきます。しかし松くい虫被害木はヤニの出方が少なくなったり止まったりしています。

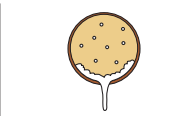
樹脂(ヤニ)の出方で診断



異常なし

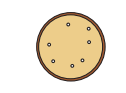


樹脂がたまり時間が経つと流れ出る



左よりやや少ないと思われるもの

異常あり



部分的に粒出する程度



微粒が若干あるが、樹脂気があるもの



樹脂気なく乾燥気味

出典:小田久五, 森林防疫ニュースVOL.16 NO.12

松くい虫被害を発生させないために

<被害未発生地域の対策>

被害未発生地域では、被害が侵入した場合に備え**定期的な監視を継続し、被害の早期発見が最も重要です。**また、松くい虫や松くい虫被害木を持ち込まない、持ち込ませない水際対策も重要です。

松くい虫以外による松枯れも存在することから、媒介者のマツノマダラカミキリを増加させないように枯れた松の伐倒駆除も大切です。

<監視体制の充実 被害監視と被害木の早期発見>

感染拡大を防ぐには感染木の早期発見は重要です。感染源となる枯死木をいち早く発見するため、地上部から双眼鏡を使った監視調査、ドローンを用いた空中写真調査が有効です。**監視場所としては、島内の森林部以外にも、松材を使用した建築資材や運搬資材が多い「港湾」、「廃棄物処分場」、「建築業者の資材ヤード」など周辺の松林を重点的に監視すると被害の早期発見に有効と思われます。**

島内にお住いのみなさまも被害木を発見しましたら、市町村や沖縄県への連絡協力をお願いします。



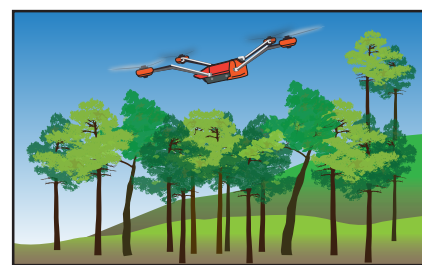
持込注意!



被害監視



伐倒駆除



ドローンによる監視

リュウキュウマツを守るために私たちにできること



見つけたらすぐ連絡!

松くい虫被害を防ぐためには、被害を受けたリュウキュウマツの早期発見が大変重要です。見つけたら沖縄県や森林組合などにすぐ連絡を。

連絡・お問い合わせ先

【沖縄県 農林水産部】

森林管理課

Tel.098-866-2295

Fax.098-868-0700

北部農林水産振興センター
森林整備保全課

Tel.098-866-2295 / Fax.098-868-0700

南部林業事務所

Tel.098-941-2583 / Fax.098-941-2953

宮古農林水産振興センター農林水産整備課
Tel.0980-72-2365 / Fax.0980-73-2314

八重山農林水産振興センター農林水産整備課
Tel.0980-82-2342 / Fax.0980-83-3542

森林資源研究センター

Tel.0980-52-2091 / Fax.0980-53-3305